

長町病院理念 ◆ 患者のみなさまとともに“平等・安全・信頼”の医療をめざします!



公益財団法人 宮城厚生協会

長町病院 だより

2021・1
No. 92

発行責任者 ◆ 水尻 強志

〒982-0011

宮城県仙台市太白区長町3丁目7番26号

TEL 022-746-5161(代) FAX 022-746-5114

<http://www.m-kousei.com/nagamati/>



新年あいさつ

長町病院 院長 水尻 強志

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスが猛威を振るっています。宮城県・仙台市でも高齢者を中心に重症者が急増し、医療崩壊の現実化が危惧されています。地域の医療機関が一丸となって対応を迫られている状況であり、身が引き締まる思いでいます。

このような事態になっているにも関わらず、社会保障費削減の圧力は強

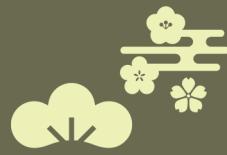
まっています。75歳以上の医療費に新たに自己負担2割の枠が設けられようとしています。医療や介護をとりまく状況は厳しく、社会保障充実に向けた運動をいっそう強化していかなければと思っております。

今年1年が良い年になることを心より願っております。今後ともなにとぞよろしくお願ひいたします。





リハビリ科専門研修中！



リハビリテーション科医師 京 吉彦

リハビリテーション科専攻医の京吉彦と申します。以下に続く文章は、2020年度の秋田大学医学部同窓会から依頼を受け、寄稿したもののが抜粋です。長町病院だよりも掲載したいとありがたい（恥ずかしい？）お声がけをいただきました。こんな文章でよいのか戸惑う気持ちもあるのですが、時間つぶしにでもご覧ください。

卒後ここまで報告と実家の紹介をさせていただきます。お付き合いください。

医師6年目になりました。実家が京病院という慢性期病院を営んでいます。1938年に曾祖父が開業し、時代に合わせて形態を変え、2019年から介護医療院になりました。僕が生まれる前はお産をとっていたらしいので、ゆりかごからお看取りまでの変遷があります。ここを継ぐのがいわゆる使命なのだろうなと思い、ここまでやってきました。

大学6年間も卒業に差し掛かるころ、「本当はバリバリ手術とかやりたかったんだけどな～」とか愚痴を言いながら消極的に実家を継ぐのはダサい！僕の地元・能代で、人事で嫌々来た人にしようがなく働かれるのも悔しい！どんどん町は小さくなるが、人を癒す場所・人が死ぬ場所は必要だし、楽しく前向きに実家を継いで、地元の役に立とう！それにはどうすれば…」と考えるようになりました。我ながら真面目な良い子だと思います。

いずれ何十年と能代で過ごす宿命なので、初期研修はあえて県外に出ることにしました。とはいえる根っからの田舎者にとって関東は恐ろしく、宮城県まで足を延ばすのが精一杯で、ソフトテニス部の先輩のつてを頼って宮城県塩釜市の坂総合病院を選びました。

そこでリハビリテーション科医と出会いました。神経内科・脳外科上がりでもなく、整形外科経験者でもなく、「最初から純粹なりハ医」がいる研修病院でした(入職するまで知りませんでした)。

よく同級生にも「リハ医って何してんの？」と聞かれます。専門医は少ないですが、専門医機構の定める基本診療科19領域の1つです。扱う領域は脳疾患、運動器疾患、内部障害、がんなど幅広く、ICUから在宅医療まで時間的な奥行きもあります。

現在は回復期リハビリテーション病棟を主戦場として、急性期病院から転院してきた患者さんの主治医を務め、自宅・施設など地域に帰っていくお手伝いをしています。

「今日から主治医を務める京と申します(ややウケ)。ここまで大変でしたね。まずはリハビリ病院にたどり着けてよかったです。今は寝返りするのもやっとですか。でも、座っている姿勢は安定感があつていいですね。尿便意はわかりますか？いいですね。もともとの生活ぶりと、今の状況と、この脳画像なら、杖と装具があればきっと歩けるようになりますよ。自動車運転？退院してすぐには無理ですけど、現時点で諦めろとは僕は言いません。まずは自宅での生活に戻って、そのあと通院リハビリをしながら外来で相談することになるでしょう。一人で歩けるまでだいたい3～4か月くらいですかね。一緒に頑張りましょう。」なんてことをしています。

麻痺を診て、予後を予測して、装具を処方して、義足を処方して（義手は未経験）、嚥下障害を診て、食べられないなら人生会議をして、排泄障害を診て、褥瘡を診て、運動器

エコーをして、肩・膝に注射をして、痙縮にボツリヌス注射をして、高次脳機能障害を診て、脳卒中うつを診て、生活習慣病の管理をして、家族への介護指導をして、身体障害診断書を書いて、医療保険から介護保険・障害者総合支援法へ繋げて、自動車運転再開判断をして、就労支援をして…。

「これは非常に興味深い領域だし、自分の前向きな性格に合っているな。実家のような

慢性期病院・介護施設で働くにはもってこいの知識だし、なにより若手のうちから回復期・生活期を主戦場にする人は少ないので?おもしろ!!!」という、興味+適正+打算+新規性でリハ医になることに決めました。

COVID-19の影響で専門医取得がどうなるかわかりませんが、数年以内には秋田に戻るつもりです。育ててもらった地元の役に立ちたいと思っています。機会がありましたら、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



消防訓練

副事務長 阿部 一彦
(防火管理者)

秋季全国火災予防運動期間（11月9日～15日）の中、11月12日（木）に今年度2回目の防災訓練を実施しました。

訓練は夜間帯を想定し北棟3階はなみずきより出火したとの想定で30名余りの参加で実施しました。14時に火災発生、はなみずきスタッフ、看護師、事務が慌ただしく動く中、無事に模擬患者を2階へ誘導しました。実際の火事では、はなみずきに50名余りの入居者がおり避難させるのに相当な時間がかかると思われます。効率的な避難の仕方、どのように行動するか各現場で考える機会にして、次回へ繋げていければと思います。

また、避難訓練後に、屋上へ移動し水消火器を使用しての消火訓練も行い消火器の使用方法等を共有しました。参加の皆様お疲れ様でした。



2020
11/19(木)

11月全体学習会・倫理委員会

看護師主任 内海 史子



11月19日の全体学習会は、倫理の学習会でした。看護部長から「意思決定支援」についてのお話と、看護部ベテラン研修で行った「認知症に特有な倫理的問題と意思決定支援」で学んだことを4名の看護師に発表してもらいました。

意思決定支援というと難しいイメージですが、意思決定支援のガイドラインを用いた説明の後に、看護師からの意思決定支援の事例を用いた発表を聞くことで、概念的な話を具体的な事例に落とし込んで学ぶことが出来ました。

2020
12/17(木)

12月全体学習会・ハラスメント

リハビリ室 理学療法士主任 徳嵩 朋美

12月17日長町病院の全体学習会「民医連医療・介護分野のハラスメント対策」の学習会がありました。

ハラスメントの概要の学習や職員対職員のハラスメントの2つの具体的な事例から、相手に対して「どうしてそんなことをするの?」ではなく「今、何が起きているのだろう?」と考え、相手を尊重する、相手が理解できるように伝えるように取り組むことが大事であると教えていただきました。

リハビリテーション室は80人程度職員のいる大所帯です。また365日稼働しており、常に何人かはお休みを取っている状況でなかなかみんなの顔が見えないこともあります。相手の立場に立ち、相談を受けやすい態度を心掛け、支援していく組織作りを心掛けたいと思いました。

